

8 移動困難者の動き

1. 移動困難者の外出率と生成原単位

● 外出に関する困難の有無別に比較すると、**外出に関する困難のある人の外出率は、外出に困難のない人の約半分**となっています。

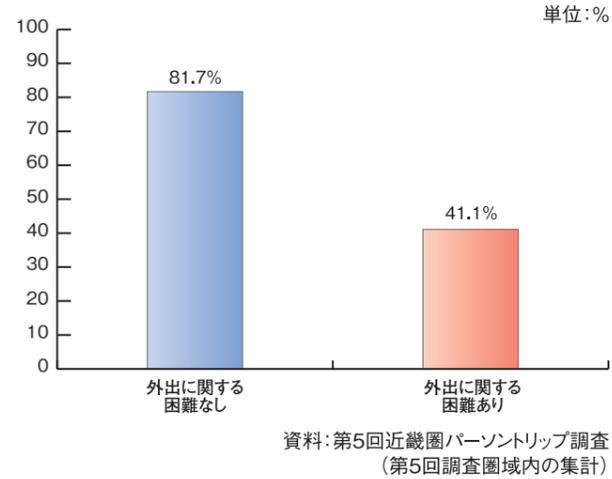


図38 外出に関する困難の有無別にみた外出率 (平成22年)

● 外出に関する困難の有無別に比較すると、**外出に関する困難のある人の生成原単位は、外出に困難のない人の半分以下**となっています。

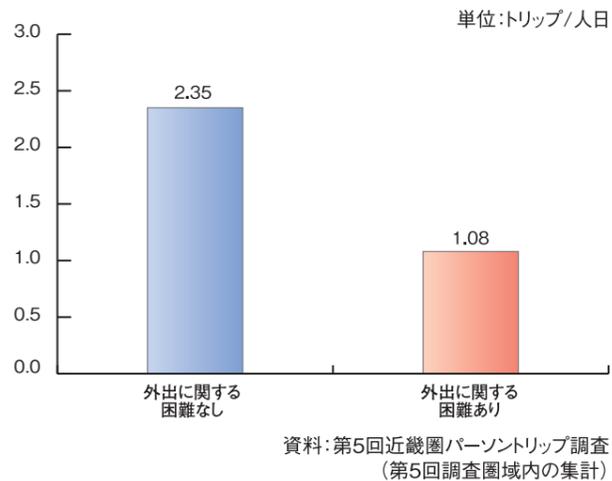
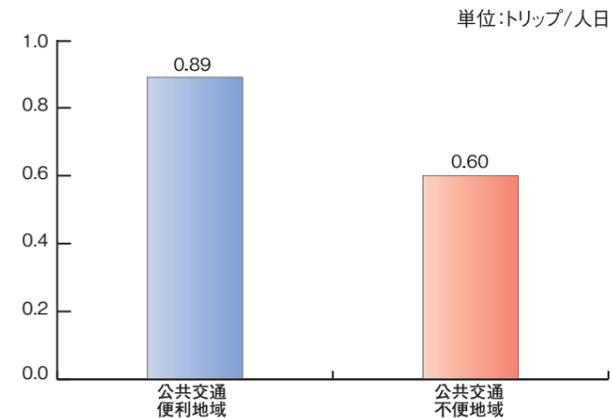


図39 外出に関する困難の有無別にみた生成原単位 (平成22年)

移動困難者とは、調査票(世帯票)の設問「外出に関しての困難の有無」で該当ありと回答された方です。

2. 公共交通不便地域の生成原単位

● 公共交通の不便な地域では、**高齢者の自由目的の生成原単位が小さい**ことがわかります。



※公共交通便利地域は、鉄道駅から1,500m以内、バス停から300m以内のいずれかに重心が含まれる郵便番号ゾーンで、公共交通不便地域はそれに該当しない地域と定義する。

図40 公共交通便利・不便別高齢者の自由目的の生成原単位

3. 移動困難者のトリップにおける代表交通手段構成

● 外出に関する困難の有無別に代表交通手段構成を比較すると外出に関する困難がある人は、ない人に比べて**バス、自動車、徒歩の割合が高くなり、鉄道の割合が低**くなっています。

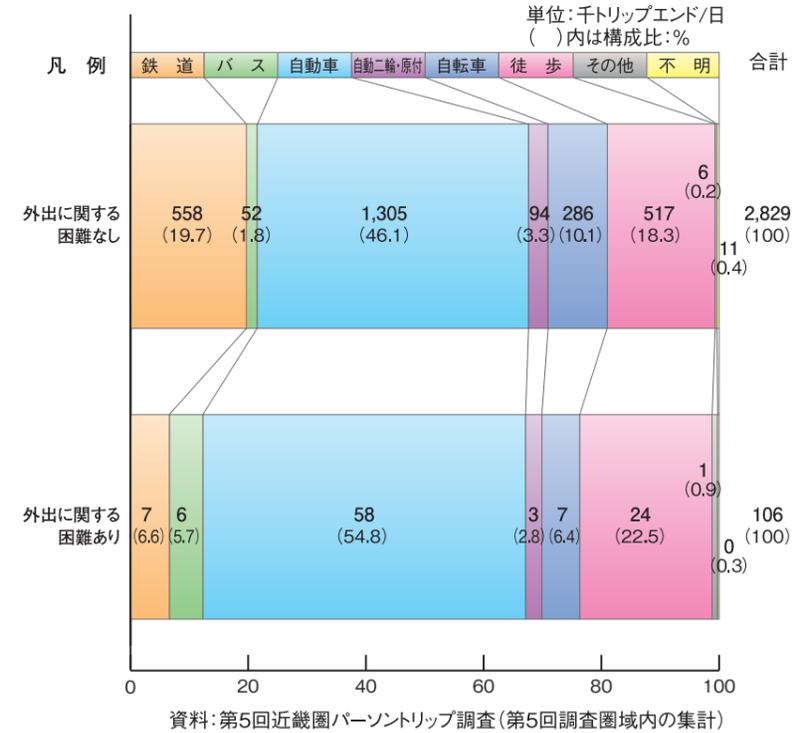


図41 外出に関する困難の有無別にみたトリップの代表交通手段構成 (平成22年)

4. 移動困難者の自家用自動車の利用状況

● 外出に関する困難の有無別に自家用自動車の利用状況(運転者の種別)を比較すると、外出に関する困難がある人は、ない人に比べて**家族やその他(知人、介護タクシー、福祉有償運送等)の割合が高**なっています。

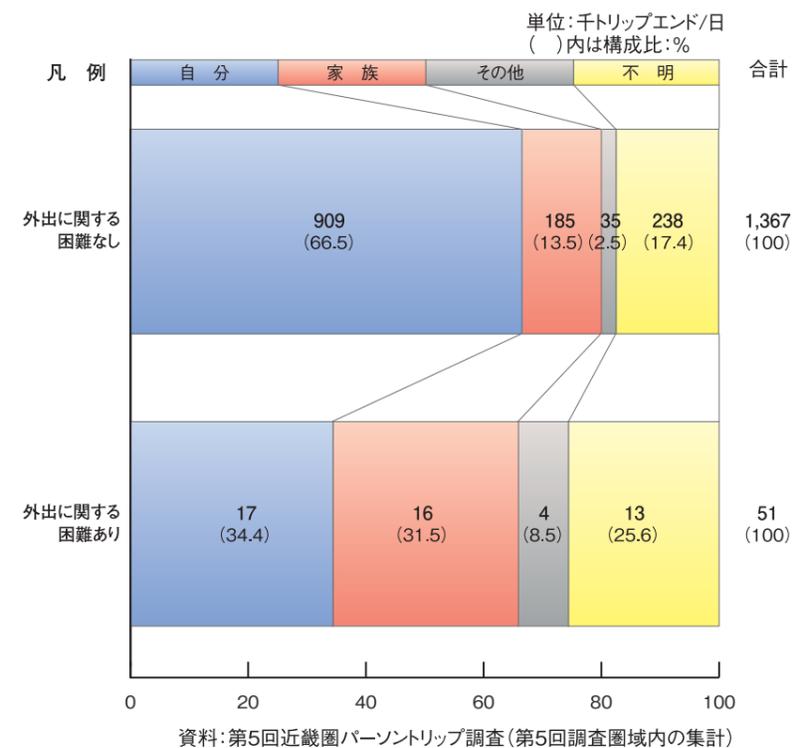


図42 外出に関する困難の有無別にみた自動車の利用状況 (平成22年)